

要件定義書

8.ポータル編

横浜市立大学 教育推進課

2024/10/17

目次

1. ポータル	2
1.1. アカウント管理機能	3
1.2. お知らせ機能	4
1.3. スケジュール機能	5
1.4. リンク機能	6
1.5. アンケート機能	7
1.6. リザーブ機能	8
1.7. 基幹システム連携機能	9

1. ポータル

教務電算システムの入り口となる。

- ポータルは教員、職員、学生が利用可能で学外からもアクセス可能とする。
- スマートフォン、タブレットに対応していること。

ポータルサブシステムの機能一覧

機能名	対象		
	職員	教員	学生
アカウント管理機能	○		
お知らせ機能	○	○	○
スケジュール機能	○	○	○
リンク機能	○	○	○
アンケート機能	○	○	○
リザーブ機能	○	○	○
基幹システム連携機能	○		

1.1. アカウント管理機能

当機能でできること

- ✓ アカウント情報照会

- ユーザ ID、パスワードをアカウント情報とし、ポータルへのログイン情報とする。
- ユーザ ID、パスワードは、本学の基幹システムで管理するため、ポータル上でのユーザ ID 変更、パスワード変更、初期化は行わない。

1.2. お知らせ機能

当機能でできること

- ✓ お知らせ登録／表示
 - ✓ 休講・補講登録／表示
 - ✓ 教室変更登録／表示
 - ✓ 学内メール連携
-
- ポータル内に表示するお知らせの登録、更新、削除、表示ができること。
 - 登録者は個人、団体、全体など任意のお知らせ先が設定できること。
 - 休講、および補講情報の登録、更新、削除、表示ができること。
 - 休講登録した日時の教室は、教室・施設予約が可能となること。
 - 教室変更情報の登録、更新、削除、表示ができること。
 - 教室・施設予約中の教室は、変更先として登録できないこと。
 - 教室変更登録後、変更前の教室は教室・施設予約可能となること。
 - 登録したお知らせの内容を、宛先ユーザの学内メールアドレスに向け、メール送信できること。
 - 学内メール連携の連携先は、学内メールアドレスとし、ユーザ本人による変更はできないこと。ただし、学内メールアドレスから任意のメールアドレスへの転送設定はできること。
 - お知らせの登録者は、宛先ユーザがお知らせを開封したかどうかの確認ができること。
 - 画面から、お知らせ登録者の氏名、最終更新日の確認ができること。

1.3. スケジュール機能

当機能でできること

- ✓ 時間割表示
- ✓ 休講・補講・教室変更表示
- 教員ユーザの場合、カレンダー上に担当科目の授業、および休講・補講・教室変更の表示ができること。
- 学生ユーザの場合、カレンダー上にユーザ本人の履修登録内容に沿った授業、および休講・補講・教室変更表示ができること。

1.4. リンク機能

当機能でできること

- ✓ 学内メールへのリンク
 - ✓ 大学 WEB サイトへのリンク
 - ✓ ユーザのブログなど任意 WEB サイトへのリンク
 - ✓ YCU VPN（学外から）
-
- 学内メールへのシングルサインオンが可能であること。学内メール（WEB メール）のリンクを作成、新規ウィンドウで開くこと。
 - 大学の公式 WEB サイトのリンクを作成、新規ウィンドウで開くこと。
 - ユーザ本人のブログやお気に入りの WEB サイトのリンクを作成、新規ウィンドウで開くこと。

1.5. アンケート機能

当機能でできること

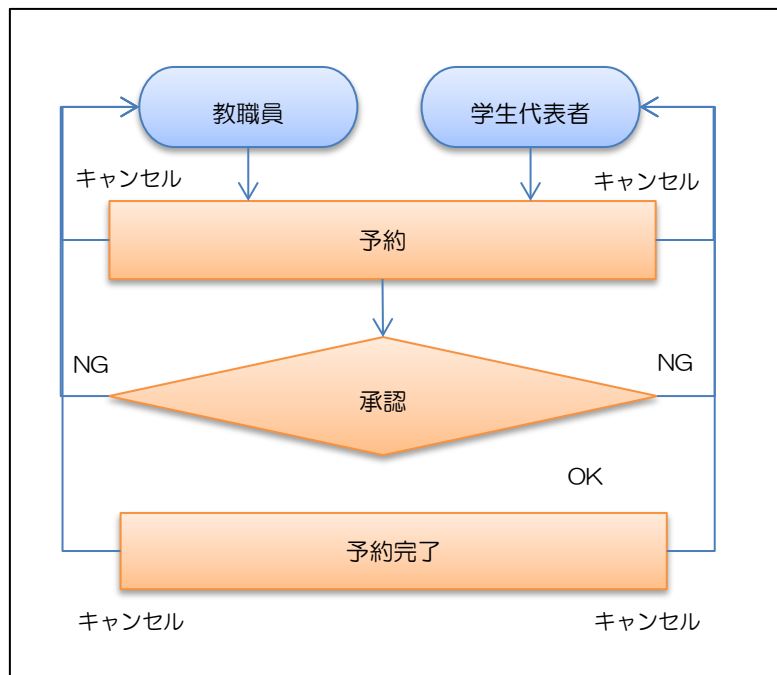
- ✓ アンケート作成
 - ✓ アンケート実施
 - ✓ アンケート結果表示
-
- 教職員、学生向けのアンケート作成、実施、結果表示できること。調査対象、調査期間はアンケート作成者が任意で指定できること。
 - 記名／無記名、いずれのアンケートも作成できること。
 - 選択／記述、いずれのアンケートも作成できること。
 - アンケート作成者は、回答の途中経過が確認できること。
 - 質問、回答ともにファイル添付ができると望ましい。
 - 記名式アンケートの場合、アンケート作成者は、回答者情報（学籍番号、教職員番号など）が確認できること。
 - 画面からアンケート作成者の氏名、最終更新日の確認ができること。

1.6. リザーブ機能

当機能でできること

- ✓ 教室・施設予約

教室・施設予約のフローを以下に示す。



- 予約可能な教室・施設の予約ができること。予約可能なユーザは教職員、および学生（部活動、サークル）の代表者としてすること。
- 予約期間（開始日、終了日）の設定ができること。
- 授業情報と連携し、授業時間帯は予約不可、休講の場合は予約可能、などの制御ができること。
- 基本的に先着順だが、職員による承認ができること。

1.7. 基幹システム連携機能

当機能でできること

✓ 基幹システム AD サーバとの LDAP 認証連携

■ 本学の AD サーバとの LDAP 認証連携ができること。

教務電算システム（基幹業務アプリケーションサーバ）認証の概要を図 1 に示します。標準的な LDAP を用いた認証であるが、表 1 のとおり、基幹システムの ID と、教務電算システムの ID が異なっていることに注意が必要。

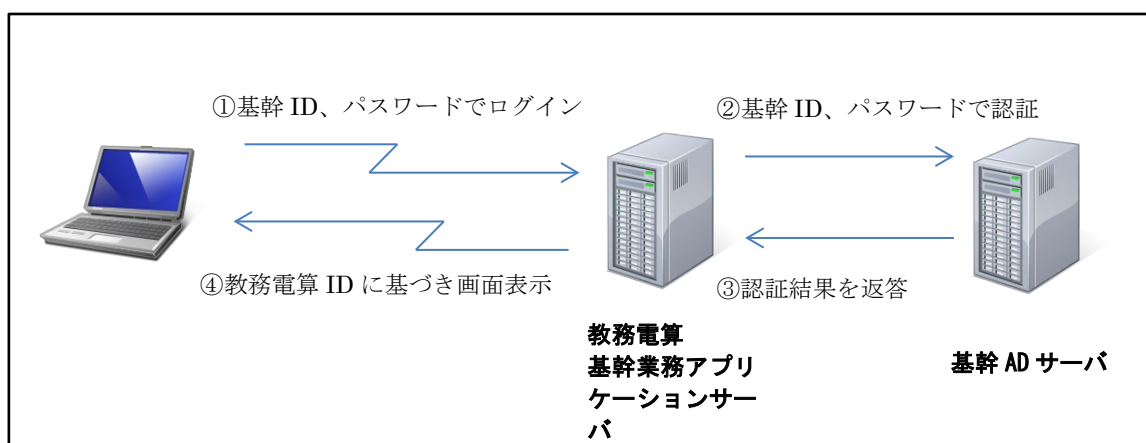


図 1 教務電算システム（基幹業務アプリケーションサーバ）認証 概要図

表 1 基幹システム保持データ イメージ

基幹 ID	パスワード	教務電算 ID	氏名
yoko1	password	999999	横市 太郎

✓ Microsoft365（EntraID）との SAML 認証連携

■ 本学で契約する Microsoft365（EntraID）との SAML 認証連携ができること。

教務電算システム（公開用 WEB サーバ）認証の概要を図 2 に示します。標準的な SAML を用いた認証であるが、表 2 のとおり、YCU アカウントと、教務電算システムの ID が異なっていることに注意が必要。

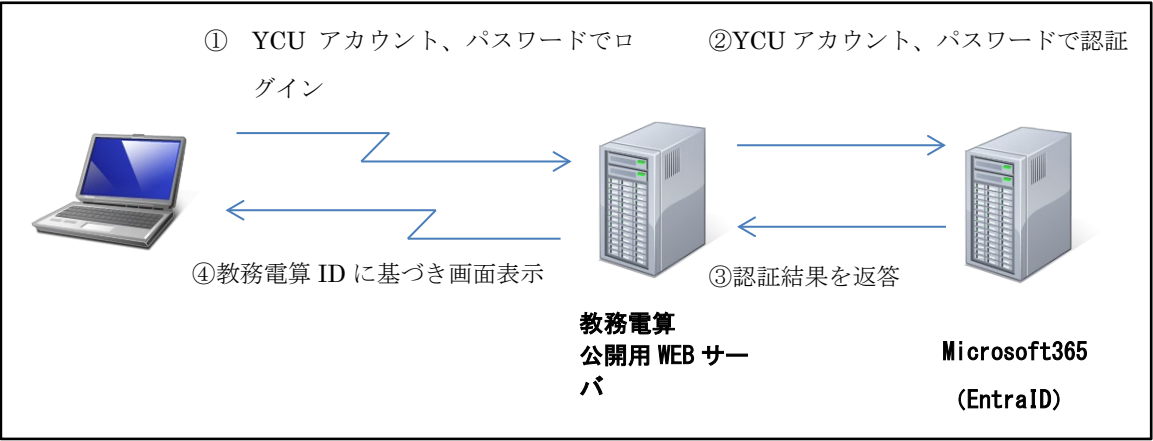


図 2 教務電算システム（公開用 WEB サーバ）認証 概要図

表 2 Microsoft365（EntraID）保持データ イメージ

YCU アカウント	パスワード	教務電算 ID	氏名
yoko1@yokohama-cu.ac.jp	password	999999	横市 太郎